

問14-1 問14で「1. 作りたい」を選択された方にお聞きします。

どのような農作物を作りたいかお書きください。

(記入内容)

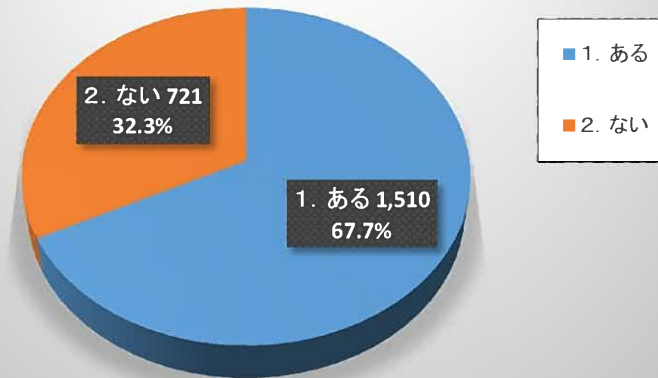
野菜	26
米	22
山田錦	11
有機、無農薬米	各10
うるち米	9
トマト	7
水稻	6
キャベツ	5
有機、無農薬野菜	各4
なす	3
特別栽培米、緑肥栽培米、安全な農作物、減農薬栽培、栽培可能な作物、ねぎ、はくさい、やまのいも、黒大豆、ハーブ類、カリフラワー、とうもろこし	各2
エコファーマー、需要に応じた作物、G-GAPの認証が取れた作物、にんじん、えだまめ、いちご、たまねぎ、ぶどう、ばれいしょ、きゅうり、落花生、アスパラガス、パプリカ、ほうれんそう、ヤーコン、葉物野菜、果物、オクラ、すいか、レタス、しょうが、ブロッコリー、ブルーベリー、いも類、ロマネスコ、畑作物、飼料作物	各1

【獣害対策に関すること】

問15 農作物へのイノシシ、シカ、アライグマやヌートリア等の被害はありますか

1. ある	1,510	67.7%
2. ない	721	32.3%
		2,231

問15 農作物への獣害はありますか

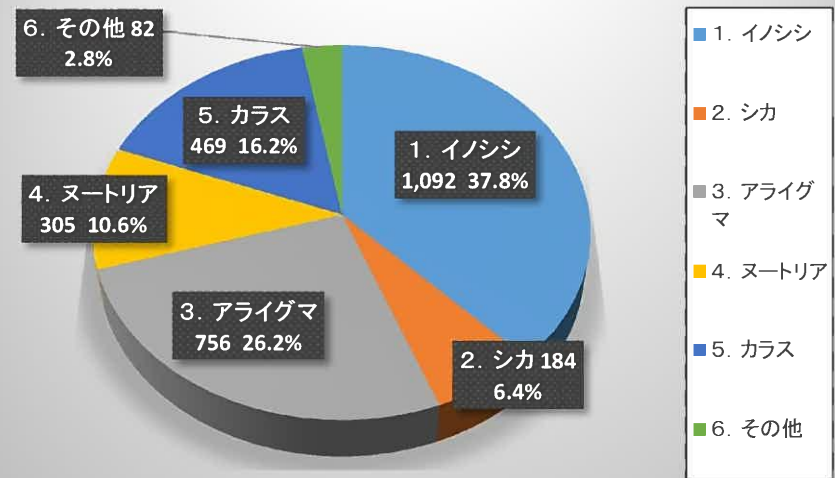


以下、問15-1～問15-4は問15で「1. ある」を選択された方のみお答えください。

問15-1 主に被害を引き起こしている害獣を選択してください

1. イノシシ	1,092	37.8%
2. シカ	184	6.4%
3. アライグマ	756	26.2%
4. ヌートリア	305	10.6%
5. カラス	469	16.2%
6. その他	82	2.8%
		2,888

問15-1 被害を引き起こしている害獣



「6 その他」の記入内容

モグラ、ジャンボタニシ、たぬき、すずめ、きつね、ハト、ひよどり、ネズミ、ハクビシン、穴熊、むく鳥、猫、鴨、渡り鳥、鳥類、不明

問15-2 主に被害を受けている農作物は何ですか。

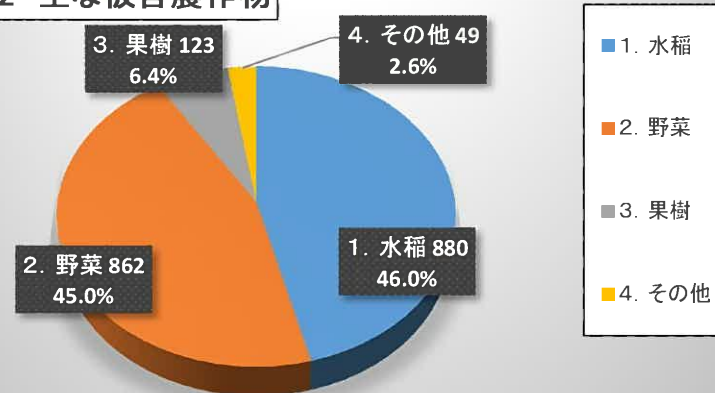
1. 水稻	880	46.0%
2. 野菜	862	45.0%
3. 果樹	123	6.4%
4. その他	49	2.6%

1,914

「4. その他」の記入内容

畦、 ネット、 ほ場、 黒大豆、 ため池、 いちご、 すいか
とうもろこし、 筍、 メロン、 椎茸、 かき、麦、家庭菜園
庭、竹やぶ、 柵

問15-2 主な被害農作物



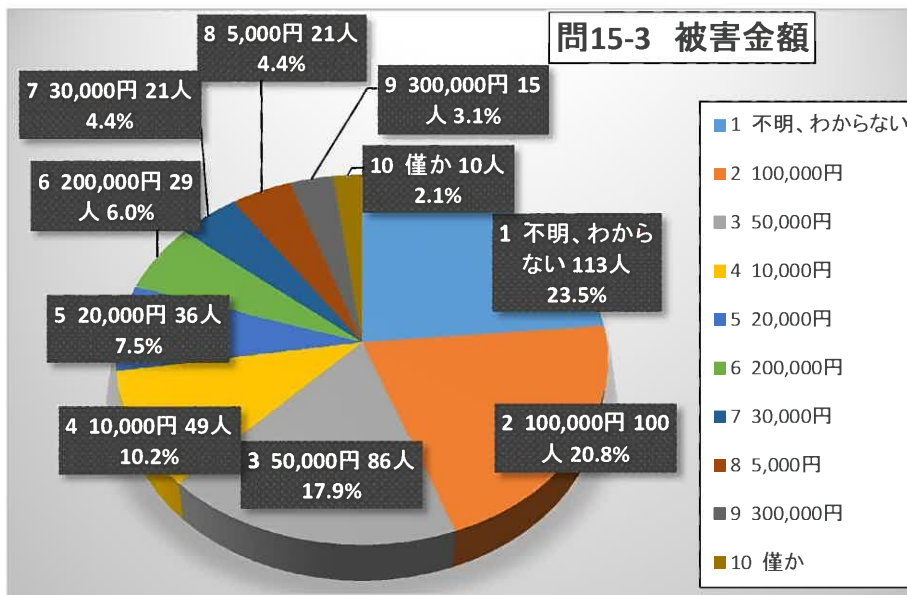
問15-3 主に被害を受けている農作物について、被害額に換算すると年間いくら位になりますか。

円

該当する被害金額の多い人数順(1~10位)

順位	被害金額	人数
1	不明、わからない	113人
2	100,000円	100人
3	50,000円	86人
4	10,000円	49人
5	20,000円	36人
6	200,000円	29人
7	30,000円	21人
8	5,000円	21人
9	300,000円	15人
10	僅か	10人

問15-3 被害金額



問15-4 現在、どのような獣害対策をされていますか。

電気柵	電気柵	520件
ネット、針金、防鳥ネット、のり網、テグス、ロープ、ビニールほか	網	374件
ワイヤーメッシュ、金網、トタン、竹、ブリキ、有刺鉄線ほか	金網柵	230件
薬剤、光沢・反射テープ、センサー・フラッシュライト、檻、CDほか	その他	17件
好物となる農作物を作付けない	作付けない	11件
特に対策をしていない	何もしない	72件

現在、獣害対策として最も多く使用されているのは、電気柵で、次いでネットや針金、防鳥ネット等が多く使用されています。

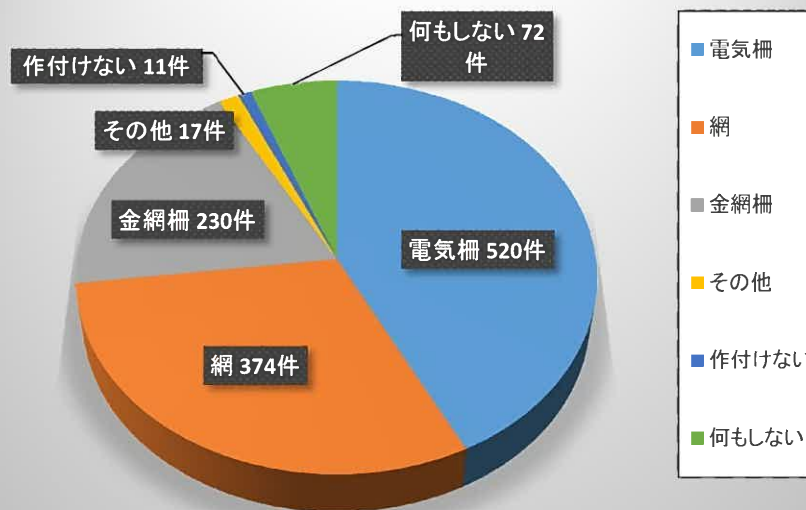
【直売所に関すること】

問16 直売所のふれすこ(JAみのり)や道の駅とうじょうコスモスの館に出荷されていますか。

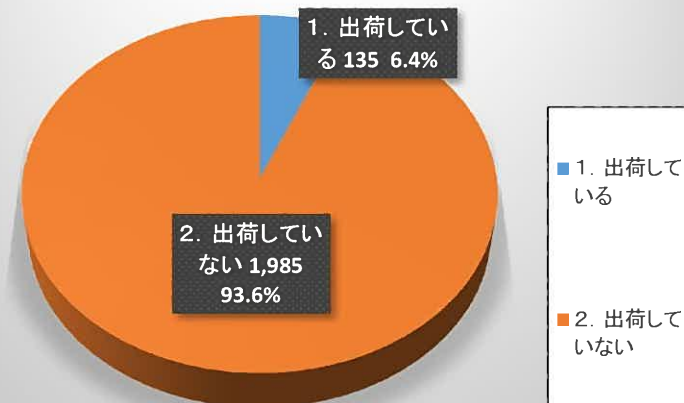
1. 出荷している	135	6.4%
2. 出荷していない	1,985	93.6%
	2,120	

直売所に出荷されている方は6.4%で、残りの93.6%の方は出荷していないと回答されています。

問15-4 どのような獣害対策をされていますか



問16 直売所に出荷されていますか



問16-1 問16で「1. 出荷している」を選択された方にお聞きします。

どんな農作物を出荷されていますか。

(記入の農作物名)

ダリア、キク、はくさい、キャベツ、カリフラワー、ロマネスコ、なす、トウガラシ、いも類、れんこん、すもも、はす花、トマト、ピーマン、かんしょ、ばれいしょ、きゅうり、野菜、小豆、ねぎ、もも、ブロッコリー、すいか、メロン、わけぎ、チマサンチュ、えんどう豆、いんげん豆、ほうれんそう、ルッコラ、パセリ、だいこん、しそ、葉物野菜、たまねぎ、パクチー、オクラ、かぼちゃ、しろな、こまつな、根菜類、花、大豆、もち米、加工品、とうもろこし、まくわうり、くり、筍、いちじく、ぶどう、うめ、しきび、さかき、レタス、えだまめ、ビタミン菜、ラディッシュ、いちご、さといも、ニンニク、みずな、果実、ふき、しょうが、やまのいも、ズッキーニ、そら豆、月桂樹の葉、クレソン、椎茸、ゴーヤ、なし、黒米、みょうが、ごま、きぬさや、ブルーベリー、にんじん、ごぼう、海外野菜

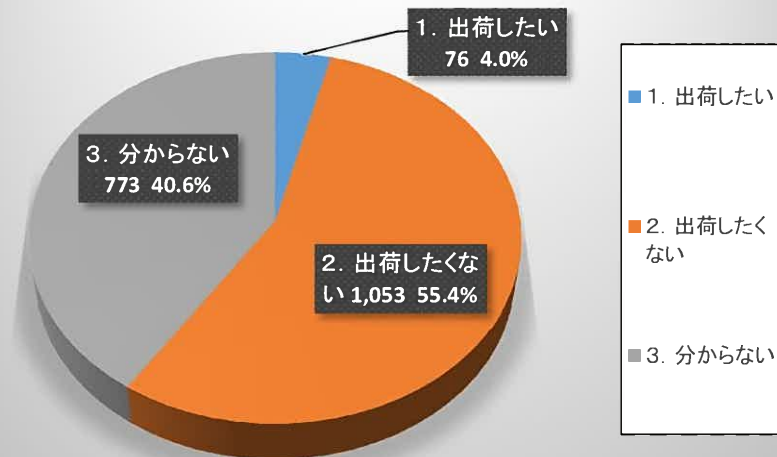
問16-2 問16で「2. 出荷していない」を選択された方にお聞きします。

ふれすこ(JAみのり)や道の駅とうじょうコスモスの館に出荷したいですか。

1. 出荷したい	76	4.0%
2. 出荷したくない	1,053	55.4%
3. 分からない	773	40.6%
		1,902

出荷していないを選択された方で、出荷したいと回答された方は4.0%で、5割以上の方が出荷したくないと回答されています。

問16-2 直売所に出荷したいですか



問16-3 問16-2で「1. 出荷したい」を選択された方にお聞きします。

どんな農作物を出荷できますか。

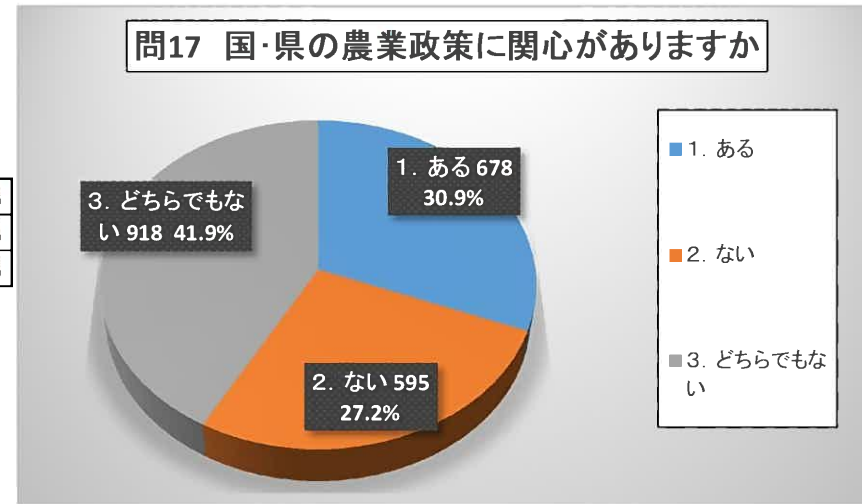
(記入の農作物名)

野菜、だいこん、はくさい、小豆、かき、キウイフルーツ、くり、筍、かんしょ、蜂蜜、ぶどう、トマト、ブルーベリー、いちご、すいか、落花生、アスパラガス、もも、しきび、ばれいしょ、山椒の実、とうもろこし、さかき、ブロッコリー、大豆、黒大豆、ほうれんそう、さといも、ヤーコン、キクイモ、きゅうり、かぼちゃ、こまつな、にんじん、椎茸、なす、ピーマン、キャベツ、オクラ、きのこ類、果樹等、ニンニク

【農業施策に関すること】

問17 国や県の農業施策に関心がありますか。

1. ある	678	30.9%
2. ない	595	27.2%
3. どちらでもない	918	41.9%
2,191		



問17-1 問17で「1. ある」を選択された方にお聞きします。
情報はどのように得ていますか。

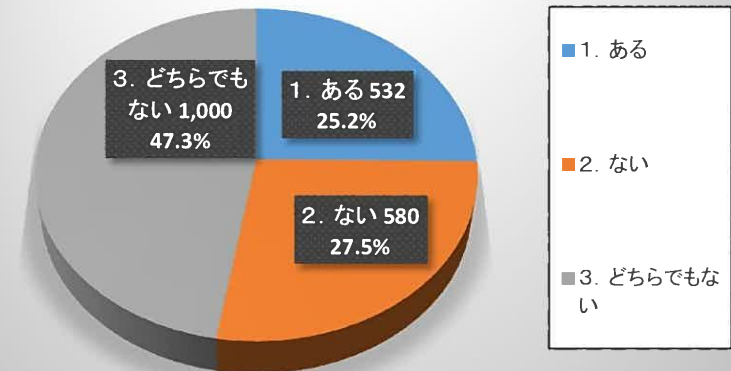
(回答内容 ※多い順)

インターネット、(農林水産省等の) ホームページ	10
一般新聞	6
J Aみのり、テレビ	各5
市議会情報、市広報	4
農会(長)	3
県機関・加西農業改良普及センター、農業新聞	各2
国の出先機関、現代農業、ラジオ、自分で調べる、人づて、情報はあまりない	各1

問18 加東市の農業施策に関心がありますか。

1. ある	532	25.2%
2. ない	580	27.5%
3. どちらでもない	1,000	47.3%
		2,112

問18 加東市の農業施策に関心がありますか



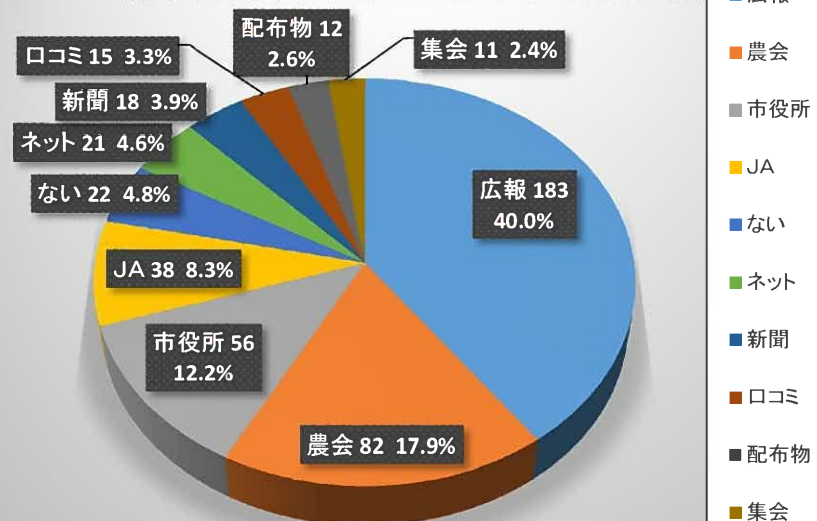
問18-1 問18で「1. ある」を選択された方にお聞きます。
情報はどのように得ていますか。

(※多い順)

J Aみのりの広報誌29、加東市の広報誌39を含む	広報	183
農会45、農会長28、営農組合9を含む	農会	82
農林課19、農業委員会2を含む	市役所	56
J A	JA	38
得ていない、および 特になし	ない	22
ホームページ、インターネット	ネット	21
(情報がほしいがあまり得られないが) 新聞	新聞	18
(知人、仲間等の) 口コミ	口コミ	15
配布物、資料パンフレット	配布物	12
集会、会合など	集会	11

458

問18-1 情報はどのように得ていますか

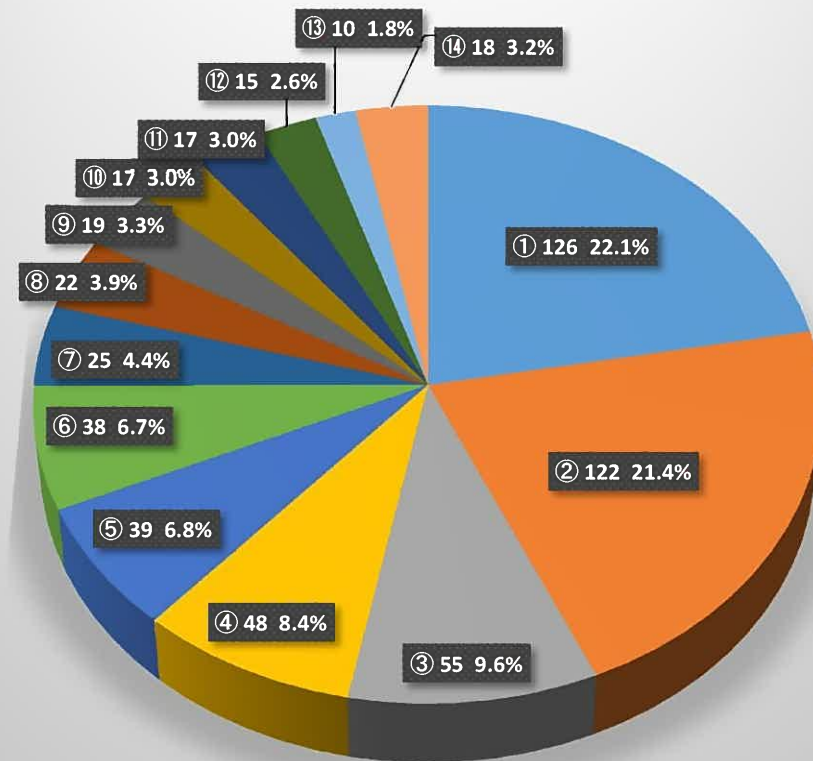


問19 農業に関し、行政に特に強化を求めたい支援策は何ですか。

(※多い順)

安定した農業経営（米価や所得安定のための支援）	①	126
獣害対策（有害鳥獣の捕獲と防護策への補助）	②	122
補助金・助成金の交付（機械購入・更新時、価格補償等）	③	55
後継者・担い手の育成、確保	④	48
ため池や用水路（水利）の整備と維持	⑤	39
山田錦のブランド化と販路開拓	⑥	38
集落営農組織への支援（法人化支援を含む）	⑦	25
加東市の農業施策に関する情報量が不足	⑧	22
休耕田や耕作放棄地の管理対策	⑨	19
（条件が悪い）農地の集約・集積	⑩	17
平成30年以降の方針を早く示してほしい	⑪	17
小規模農家対策（大規模農家に補助金等の恩恵が集中している、もっと拾いあげて欲しい）	⑫	15
J Aと連携を強化し、営農指導を行ってほしい	⑬	10
その他	⑭	18
「その他」の記入内容		571
・各栽培物の集約的組合の立上げ。 ・個人の農地を自由化してほしい。 ・市が中心となって6次産業化の推進と子どもだけではなく大人への食育。 ・転作は今まで通り続けるべき、大農家は小さい田は受けてくれない、今以上に水の管理も含め問題化する。 ・提出書類が大変複雑であり簡素化を望む。 ・納得して離農できる方策の提示。		

問19 行政に特に強化を求めたい支援策



問20 将来の加東市の農業は、どうあるべきだと思いますか。

考えをお聞かせください。

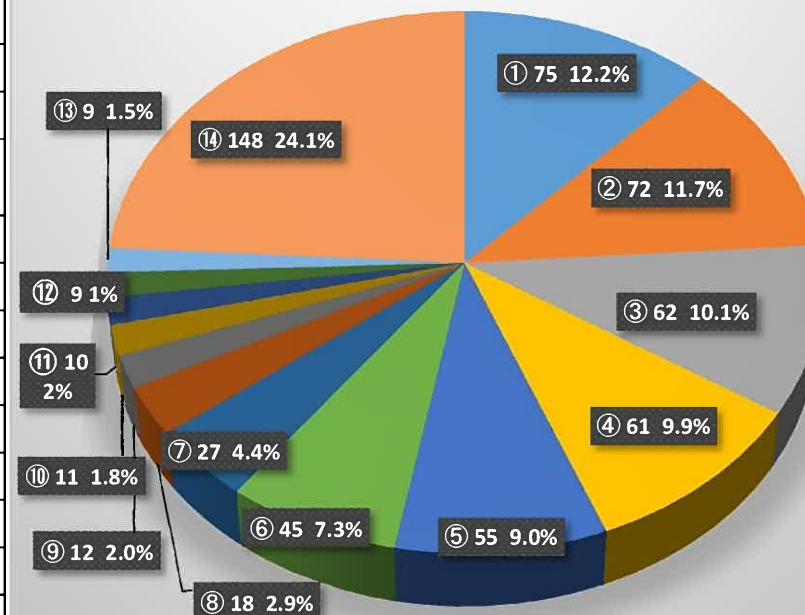
(※多い順)

集落営農組織の立上げ支援と強化	①	75
山田錦の更なる振興と品質向上の取組	②	72
(山田錦以外の) 特産品の開発、地産地消の取組	③	62
(補助金体制から脱却し) 農家の自立化、経営安定の独自取組	④	61
後継者の就農支援	⑤	55
経営の大規模化、法人化の推進	⑥	45
その他の意見	⑦	27
耕作放棄田の解消	⑧	18
(市や県等の) 行政とJAみのりとの連携強化による指導	⑨	12
(個人の) 農業機械等購入や借入金の補助	⑩	11
(農産物の) 販路開拓と拡充	⑪	10
有機農業や特別栽培米等による高付加価値作物への取組	⑫	9
獣害対策	⑬	9
分からない	⑭	148

614

記入意見は別紙 1 を参照

問20 将来の加東市の農業はどうあるべきか



問20-1 問20を実現させるために、加東市とあなたは
どうしなければならないと思いますか。
お考えをお聞かせください。

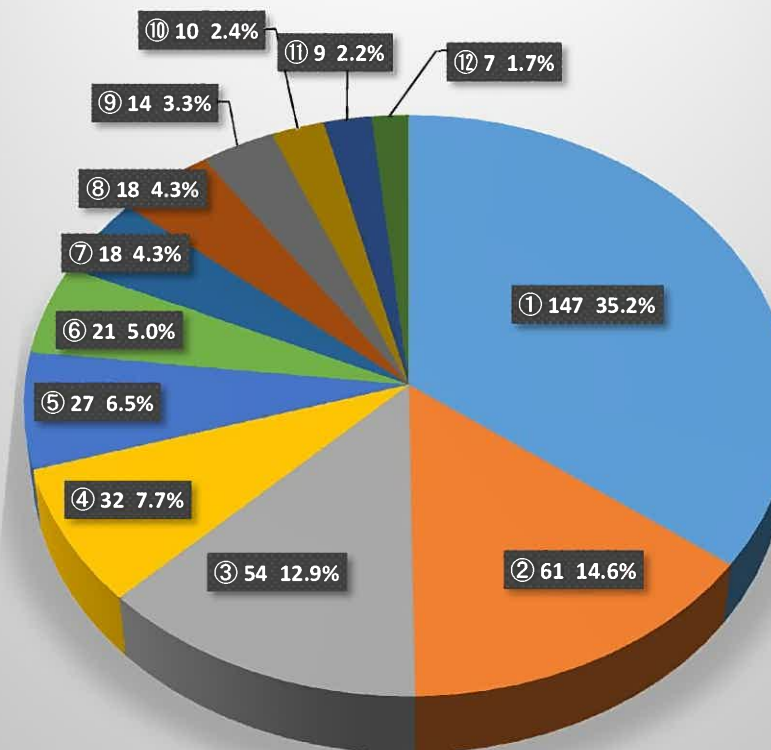
(※多い順)

J Aみのりと加東市は農業者と意見交換し指導を行う	①	147
分からない、関心がない	②	61
その他	③	54
(山田錦を含め) J Aみのりと加東市による販路開拓と拡充	④	32
集落営農組織化又は法人化の支援と組織強化	⑤	27
加東市と J Aみのりから情報をもっと提供してほしい	⑥	21
後継者の就農支援	⑦	18
地域や農家の自助努力	⑧	18
J Aみのりや加東市によるほ場の維持管理	⑨	14
獣害対策	⑩	10
行政の関与を止め、農業者に任せる	⑪	9
高齢等で課題の解決が困難	⑫	7

418

記入意見は別紙 2 を参照

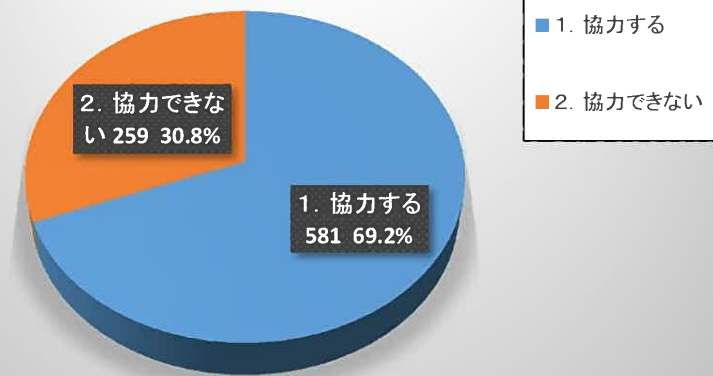
問20-1 問20を実現のため、加東市とあなたは
どうしなければならないと思いますか



問20-2 問20-1を実現するために、あなたは協力していただけますか。

1. 協力する	581	69.2%
2. 協力できない	259	30.8%
840		

問20-2 実現するため協力していただけますか

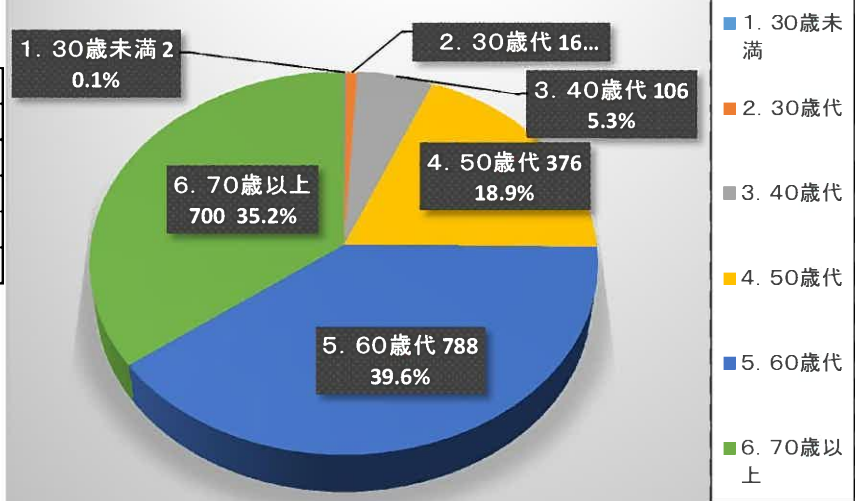


最後に、あなた自身のことについてお伺いします

問21 平成29年(2017年)4月1日現在の年齢に該当する番号を選んでください。

1. 30歳未満	2	0.1%
2. 30歳代	16	0.8%
3. 40歳代	106	5.3%
4. 50歳代	376	18.9%
5. 60歳代	788	39.6%
6. 70歳以上	700	35.2%
1,988		

問21 4月1日現在の年齢をお聞きます



（問20 将来の加東市の農業は、どうあるべきだと思いますか。お考えをお聞かせください。）の記入意見

①集落営農組織の立上げ支援と強化

集落営農組織や法人に委託しても収入がでるようにしないと、耕作放棄田が増えるのではないのでしょうか。

集落営農組織が今のところ、最も安心である。

各部落に集落営農組織をつくり自分の部落は自分たちで支えるという事が良いと思う。

個人の営農活動は今後長続きしない。そのため部落単位ではなく、例えば市単位で集落営農組織を立ち上げ経営するといった施策が必要と思う。

集落営農組織作りを進めてほしい。

集落営農組織の出来る地区を増やして行く。

水田については個人委託しているが、将来的には集落営農組織への移行が望ましいと思う。

地区の環境保全の為、その地域の農業の姿がどうあるべきかを行政が中心となって積極的に提案すべき。例えば集落営農組織等は入り合い耕作が増えると地域の農業形態が難しくなる。耕作放棄地が増える。地域の環境は地域の住民（農家）で守る原則。

農業人口の減少、高齢化が進む中、集落営農の推進を図るべきだ。

②山田錦の更なる振興と品質向上の取組

加東市産山田錦をブランド化、商品化し、今後も枠外生産を継続させてほしい。小粒のみでは新規農機具を購入出来ない。

酒米の販売先の確保。

酒造好適米（山田錦）のブランドを抱えているため有利であると考え、需給のバランスの取れた作付け計画が必要だと思います（契約栽培）。

全国的に山田錦が有名なので、そのブランド力を生かし全国から若者が集まり、加東市の農業が活性化すればよいと思います。

山田錦特A地区のブランドを生かした高付加価値化の推進。それに見合った作物の栽培技術の普及、後継者への教育。

山田錦を中心に出荷量と価格の安定。

山田錦をもっとブランド力を高め、もっと高額に引き合ってもらえる卸業者を選択してほしい。（市レベルでの取引業者）

③（山田錦以外の）特産品の開発、地産地消の取組

JAふれすこでは、15%の販売価格の手数料は大きいと思われる。自由市場のようなものは開けませんか。

一貫性。地産地消の拡大。

加東市に適した農作物を大学や専門の機関も交えて検討すべき。

現在山田錦に頼りすぎだと思う。阪神方面では加東市産きぬむすめの人気があるので、きぬむすめをブランド化すればいいと思う。

高収益作物の産地化、ブランド化。

米作り以外に多様な作物を作りたい。地域（地質）ごとに適した作物の情報を知らせてほしい。

水稻依存から脱却すべきだとは思いますが・・・。

地域の特性を生かして、山田錦だけでなく、野菜も、加東に行けばあれが有るといったものを、今後、皆さんで作り出していけたらと思う。

地産地消の自立農業。

特色ある産地づくり（桃、山田錦）、農産物の販路の開拓（JA任せにしない、市でも力を入れる）。

農業者も益々高齢化が進み、後継者不足も増え、農地を守る事も難しい状況ではあるが、山田錦、茶、桃などの基幹作物以外にも加東市地域にあった作物の開発（市場に出回っている作物でも良し）栽培法等の情報、指導などを提供していただければ、少しは農業したい人も増えるのではないかと。

山田錦に頼らない、ブランド価値のある作物を開発する。6次産業化の強化のための商材を開発する。

山田錦のみならず、他の特産品（農産物）の育成強化を図ってほしい。（JAと協力して）

山田錦の様に全国に名の出るものを作るべきだ。

④（補助金体制から脱却し）農家の自立化、経営安定の独自取組

過去からの転作という行政主導の農業施策により、かえって農業を弱体化させてしまったと私は思っている
ので、行政に求めるのは、保護施策をやめ、農家自らが創意工夫できる環境を整えるべきだと考える。

米(山田錦)、野菜、直売所・・・どれを主軸にしていくのか方針を決める。補助金など他力頼みの中途半端
な施策はやめる。

最大級の作る自由を与えるべき。すべて自己責任の下で。

水稻、山田錦を2年に1作している。毎年作りたい。

組織化ばかりに関わらず、個人の小規模な農家でも土地（農地）を守って行ける様な対策がほしい。

どのような方法でもよいので、土地を所有されている方が、自らの財産である農地を自分自身で管理する
ということを認識していただく必要があると思う。私達のまちは、私達で守りましょう。

農地の保護から個人（所有者）の転用活用に移行すべき。

やって損する農業ではなく、やりがいのある農業。

隣接の市と同じではなく、加東市単独行政を考え隣接、県、国からも羨ましがられる行動を考えてもらえ
れば。

⑤後継者の就農支援

営農の若者を育成し育てる。

後継者がいる場合は出来るだけ農業に関心をもってもらい、家族全員で楽しく農業が出来る環境づくりをしていく。

後継者が地元で就職先がない為に都会に出てしまう。農業だけではなく全体を見渡す行政を求める。

後継者問題のため委託しやすい状態を作してほしい。

高齢社会になり次世代の担い手がない。今後荒地になる傾向があり、市とタイアップして荒地をなくすよう努力していただきたいです。

将来農業が出来なくなった場合、誰か作ってくださる方をさがしてほしいです。

農業後継者の育成。集落営農化には反対です。→後継者が減少→育たない。

農業者が米作りをやめてしまうと、集落が消滅する。国が水田農業を守るため支援する。

山田錦、山の芋、なす等の講習会をして若い人に農業の楽しさを学ぶ機会を作してほしい。

若者の農業従事の推進=所得が満足にある効率的な農業の推進。

若者の夢のある農業。

わかりません。若者がもう少し農業に魅力を感じるような施策をしてほしい。

⑥経営の大規模化、法人化の推進

稲作→法人、会社等に大規模化して利益の出せる農業にすべき。個人でちまちましては、赤字のまま。

営農組織化より法人化にすべき。

集落営農組織、企業、個人による大規模化。継続性では企業がよいと思います。

加東市営農株式会社（一本）。

企業として取り組むべき（一つの産業として）。

集落営農の枠にとらわれず、中規模、大規模でまとめた営農。

法人化や団体化で大きな組織は出来ているが、商売としての農業が前に出ており品質が後回しになっていると思う。両立している組織を早く作り上げるべきかと思う。

⑦その他の意見

アンケートを求めるばかりでなく、ビジョンを示して議論をするように取組まれない。

加東市だけで考えていいのか？もっと広く北播磨地域又は兵庫県の農業はどうあるべきか？考えたほうがいいのでは。

強制的な農地の集約化はやめてほしい。

経営規模ばかりでなく小農対策も必要と思うがどうですか？

現状維持に努めるべきだと思います。

大規模自然災害、戦争の勃発などで食糧が減ったりしたとき、国民が飢える心配がある。食糧自給率の向上を図るよう政府に働きかけてほしい。国民を飢えさせない。これは政府の最大の義務。

日本で唯一産出する資源、減反という無策で40数年間台無しにしてきた。食用以外に利用すべきである。

農協が地区別定年者（60歳以上）雇用（営農代表）→傘下→地区別営農地区（株）→土地の持ち主に分配（配当）のサイクル。

農業生産企業（酒蔵を含む）の受け入れ。

農業のIT化。機械の自動運転化。

⑧耕作放棄田の解消

休耕田を加東市で作付けする。野菜や水稲どちらでも。

加東市は田しかない。活用以外はない。

災害防止の観点から耕作放棄地を出さない施策。

順風満帆なサイクルが必要。空きの田が無いように助っ人できる人材確保。

農協で管理してほしい。

放棄田が増加すると思われる。その放棄田を観光などに活用する。（例えば手入れの必要が少ないひまわり等の栽培を薦め、それを観光に生かす）

⑨（市や県等の）行政とJAみのりとの連携強化による指導

（農業指導）市とJAが一連となって高齢化が進む中どうしてくれるのかお聞きしたい。

加東市は農業に対して積極的な指導がないのでは。

米をはじめ農家で生産された産物は皆農協へ持って来い。原点ではないでしょうか。農協が弱い。組織が泣いている。

市、JA、住民3者により対策委員会を構成し、地域の作物を考え、農業者が安定した生活が出来るようにしてほしい。

市、JA等で公社設立し、将来の作付けを分け、作業料、農地賃貸料で活性化させる。

農協がもっと底力をいれるべきである。少しの農業をしている農家は毎年赤字でやっている。ライスセンター等、農薬等利用料が高すぎる。

⑩（個人の）農業機械等購入や借入金の補助

機械（農機具）を買うときに高額すぎる為、金利の低い率で借りられるようにしてください。

機械の購入補助。

高性能農業機械の普及推進と補助金、農業所得の安定化（個人の農業経営の大規模化）。

トラクター、コンバインの農業機械のリースを考えてほしい。200 a 位の耕作者で認定農家になる様にしてほしい。

農業以外で働いた金を農業に出す。おかしいのでは。農業収入で農機具が購入できるのであれば。

⑪（農産物の）販路開拓と拡充

稲作以外の野菜、花、果樹等の阪神都市部への販路を強化。若者の農業従事者を育てるべきだと思う。

加東市の農産物を対象とした大量消費団体・施設・会社との契約栽培の推進。

生産者、消費者とのパイプ作り（地域作物の販路作り）。

作った作物が売れる。やりがいのある農業にして欲しい。地域でまとまって、企業に販売に行ったり、WEBで販売したり、もっともっと前に出て行くべきだと思う。

⑫有機農業や特別栽培米等による高付加価値作物への取組

高品質な米作を推進すべきだ。付加価値の高い作物を作るべきだ。早く着手せねば今に困ってくる。

生産量を少なく、いいものを作る。

食べて安全な米、野菜作り（無農薬等の米、野菜づくりに力を入れてみる）。

低農薬、無農薬、無化学肥料の農業へ転換すべきだと思います。土作りをしっかりとやりましょう。

付加価値のある特産品等の生産地となり努力した人が儲かる農業。

有機農産物で差別化を図っていくべき。

⑬ 獣害対策

イノシシの撲滅。

害獣対策の徹底。

獣被害が多く、耕作放棄田、農業放棄者が出てきました。被害が増すばかりです。

第一に獣害対策である。現地に合った助成を願います。

どこで作っても同じコストで作れるようにしてほしい。即ち、獣害対策で山間地は非常にコストがかかる。

（問20-1 問20を実現のため、加東市とあなたはどうしなければならないと思いますか。お考えをお聞かせください。）の記入意見

①JAみのりと加東市は農業者と意見交換し指導を行う

いろいろなアイデアを出すので、行政も勉強して指導してほしい。

色んな講習会、講演会などを聞く。

各自治体（部落）に適した環境の調査と推進。

各土地にあった栽培方法の明確化。

具体的には各種団体の責任者、役員、また、強い思いの有る方が一堂に会して話し合う事。

経営方法、栽培方法の講習会等をもっと多くしてほしい。

現状の農家の実態調査と実現に向けての説明会の開催。

市任せではいけないので、市民と共同で方策を考えたい。

専門知識を持ったリーダーの育成。行政自体に専門知識を持たれた方がいなく、農業知識、農業土木知識がある方がいないため、長い長い年月をかけて育成すべき。

方針を明確にして意見の集約を図り、強力に推進してほしい。

明確な作物選びと産地分別（分配）を行い、地域の強化を推進する。

②分からない、関心がない

あなたはどうしなければならない？と聞かれても、今この時点の歳では、どうしようもなく、余計に考えてしまうのみ。

今のところ考えはない。

加東市は山田錦のイベントを行うが、農家に関しては関心がないように思う。加東市が今後どうしたいのかわからない。

関心なし。期待もしない。

具体策が浮かんでこない。

兼業農家では定年後でないと計画（考え）が出来ない。

それが分からないから困っている。

手遅れ、先手必勝。

問20の今後はないと思われる。

農業の10年先は暗い。お互いに危機感を持つ。

別に何も思わない。

まかせます。

難しいです。分かれば良いのですが。

わかりません。

③その他

環境整備

規模拡大（経営）を進めれば進むほど地域農業に無関係な住民が増加し、地域行政の活性化がやりにくくなるのではないのでしょうか。

行政やJAの権限拡大。

兼業農家は農業収入より出る金がかかり、何をしているのか。

健康食品の研究と生産、製造を目指してプロジェクトを立ち上げるべきである。

現状維持

これは国の問題で加東市ではどうにもならないと思う。

産業特区等に認定されるなど横並び行政からの脱却がいる。

小規模農業者を活用して、各種施策に活用してほしいです。

地域が必要とするサービスを、農業だけではなく外のサービスと組み合わせて地域で事業化する。（都市部に近いのでいろいろと困難が伴うが。）

農業委員会は農地の耕作面積を一反程度に引き下げるべき。高齢者でも野菜等の作物が趣味で作れるようにすることが耕作放棄地減少の策と考えます。

農業振興区域と居住区域の見直しによる活性化に期待します。（私は）後継者が喜んで地域に住める農業環境整備に努めます。

④（山田錦を含め）JAみのりと加東市による販路開拓と拡充

加東市ブランド品の拡大。

減農薬、無農薬の山田錦うるち米を作り、差別化を図った米作りとブランド化。

高収益作物の作付け～出荷に協力する。

国道沿いに直売所を設置する。

全国の酒蔵で、山田錦の米で一度は酒を造ってみたいと聞いたことがあるので、ぜひ、酒蔵をまわって山田錦の米をすすめてほしい。

山田錦は別にして、野菜等も数（品種）をしぼりこんで、加東市の地にあったもの（阪神間の消費地が近いので）を作っていけたらと思う。先進地の見学も行い、交流も深めていけたらと思う。

有機農業への支援。情報提供の充実。販路の拡大。

⑤集落営農組織化又は法人化の支援と組織強化

集落営農組織の充実と援助の強化。

加東市と地区の連携のもと、法人化への指導、メリット等説明を重ね、連絡を密にしてもらいたい。

高齢化の中、今のところ集落営農組織が安心と考えます。

個人経営では後継者不足で行き詰ると思われる。10～20年後、法人化を考えるべきであろう。

認定農業者は増えつつあるが、後に残った人で集落営農、部落で4、6、8、ブロック分け。役員、リーダー、30～35年で決めたい、アドバイス、アイデアがほしい。

農業を企業化し営農の方向性を確立する。

わからないが集落営農組織を充実させる。

⑥加東市とJAみのりから情報をもっと提供してほしい

色々な研修及び情報を早く知らせてほしい。

行政は、現在何をどうしているかを農業者に示してほしい。アンケートの結果は広報等で知ることができるのか？

米市場の実態を正確につかむこと。

とにかく情報がほしい。ビジョンが見えない。不安である。

もっと農業試験場の専門の職員の考えとか、アドバイスを知らせてほしい。

⑦後継者の就農支援

後継者を育てるために、農業に関する勉強会や農業のいい所などをもっとアピールする。今の農業はしんどい、お金にならない（収入面）などあまりいい所がないので、なかなか難しい。

担い手育成制度等を検討していただき、若者に農業を継いでもらう取組が必要と思う。

若い人中心で市が主導して研究会を開き、または、定期的に継続していくことが大切だと思います。

若手が農業に興味を持ちやすく体験しやすく参入しやすいしくみや、田畑を借りて生活が出来るような、生活が落ち着くまでの補助、それらを都会の若手へ周知する。たとえば、「一から移住」のような番組に取り上げてもらえるような空き家と田畑を格安で貸すなど魅力有るプランを作る。

⑧地域や農家の自助努力

「自分の土地は自分で守りましょう」というようなキャッチコピーを作る。

各農家でまず後継者に農業を教える環境を作ること。

耕作放棄田が今後増大する可能性があると思うので地域で守る必要があると思われる。

身体の続く限り動きたい。農地は放棄したくない。自分の代は守りたい。稲作であれば山田錦の作付け、全国一番の好適醸造米、もっとアピールで需要拡大。美しい日本、美しい加東市、放棄田なし。後は行政の方向性次第。

少しずつ資金を貯めて設備を導入しないといけない。

体力が衰えたと、集落営農組織や法人に任せず、自分の健康のためにできることを考え「人任せにしない」という自覚を持って守っていく方法をいろいろ考えて守るべき。（できない言い訳はしない。）

とりあえず、チャレンジしてみる。

農家が1軒だけでは農業がやっていけないので、能力や情報を共有して助け合っていければ少しは維持していけると思います。

⑨JAみのりや加東市による圃場の維持管理

JAみのりにお願いし、田を作って頂く。

加東市と農地の委託の話し合い。

耕作地を手放す決意、努力をし、市はそれらに対する助成が必要と思う。

小規模農家より農地の放棄地を出さないため買取り。集落の農地集約化を進めやすいよう、助成、支援に力をいれてほしい。

田んぼを買い取ってください。

離農者の生産代理、支援などがあればよいのでは。

⑩獣害対策

イノシシの駆除をお願いします。（竹の子）竹やぶが全滅です。怖いです。よろしく。

獣害対策をして作物を守ってほしい。農家が作っても被害にあわないように。

獣害の県、市の規約では対応できず、現地を見て対策を願います。

⑪行政の関与を止め、農業者に任せる

あまり耕したことがない行政の人たちや文化人といわれる人たちが農業の在り方に口出ししない方がいいのではないのですか。毎日草刈りしたことがありますか。

規則をなくして、自主性、工夫に任せるべきである。だから農家をダメにしてしまったのだ。集落営農もいずれ息づまるだろう。失敗した先例（外国の例を含む）を教訓にするべきである。JAに遠慮しているようではダメ。行政がしっかりしなくてはダメだ。

個人作付調整をやめて自由にし、生き残る農家で生産してほしい。

農政保護からの脱却。